

平成30年度 基本事業評価シート（平成29年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち

施策 06 社会保障の健全運営

基本事業 05 セーフティネットによる自立支援

主管課： 社会福祉課

関係課： 建設課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 低所得者	意図（どのような状態にしたいのか） 生活保護や公営住宅等のセーフティネットにより、低所得者の生活支援と自立を促進する。
--------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

生活保護率 (％) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.39	0.37	0.36	0.42	0.44	0.48
向上指針	その他	(状況) 前年度より0.01ポイント低下していますが、基準値からは0.03ポイント低下しています。また、向上指標の考え方については、全国的に増加傾向にある保護率の抑制に努める取組とします。			
対前年度	横ばい	(原因) 保護率は0.36%と県内の福祉事務所でも二番目に低い保護率となっています。また、生活保護世帯数及び保護人員は、前年度と比べ、世帯数12世帯増の198世帯で人員は同数の240人となっています。この状況については、昨年度に大家族1世帯が保護廃止となったことに伴うものです。			
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

生活保護からの自立世帯数（年間） (世帯) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
5.00	14.00	21.00	3.00	4.00	5.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して生活保護からの自立世帯数が7世帯増加しています。			
対前年度	向上	(原因) 近年、高齢者世帯からの保護申請が増加傾向にあり、高齢者世帯は保護世帯全体の52.1% (H30.3.31現在) を示しています。収入増等により保護廃止となった保護世帯の増加に伴い、稼働世帯の割合が、H28年度末12%からH30.4月の8.2%にまで下げることができた。このことは、就労の阻害要因のない保護者に対しては、24年度から継続して就労指導員による積極的な就労支援を行っていることによるものです。			
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

市営住宅の施設維持管理上の不具合件数（年間） (件) 建設課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
14.00	8.00	14.00	6.00	5.00	5.00
向上指針	下がると良い	(状況) 前年度から比較して不具合件数が6件増加しています。			
対前年度	向上	(原因) 老朽化に伴う不具合箇所の多い浴室廻りについて、市営住宅長寿命化計画に基づき、平成27年度から浴室改修工事を進めているが、トイレ、台所の水回り不具合が増加しています。			
目標達成度	中				
次年度課題	課題としない				

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

